

クリーンレイク諏訪 諏訪湖だより



第34号 (H30.1月発行)

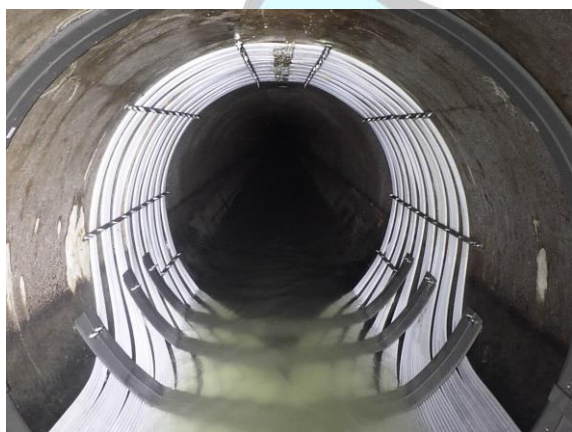
今月のトピックス

下水熱利用のための工事が完成しました

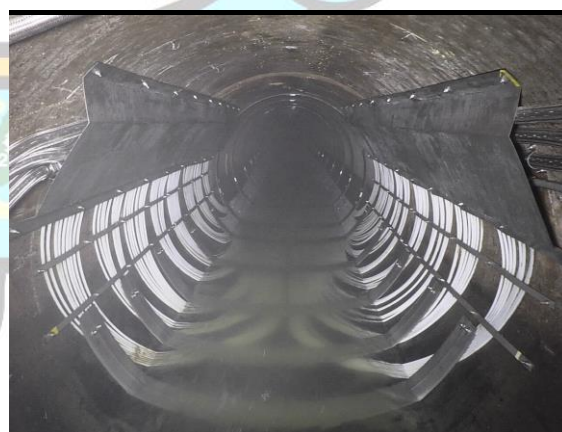
平成29年11月2日(木)に行われた、施設を運営する株式会社シーエナジーと、長野県諏訪建設事務所との下水熱利用に関する協定の調印式。株式会社シーエナジーでは、来年4月の諏訪赤十字病院での冷暖房施設の稼働を目指して、11月から実施してきた流域下水道幹線の管路(下水管)内への熱回収設備(採熱管)の設置工事が完成しました。

工事は夜間の下水量が少ない時間に、上流からの下水流入を止めて実施してきました。工事は12月に完成し、1月完了検査を実施し、計画どおり施設が設置されていることを確認しました。

夜間は汚水の流入がほとんどなく、排水のほとんどは温泉排水とされます。下水管の内部は外部と比べてかなり温かく、下水熱のポテンシャルを実感しました。流入の少ない夜間に上流からの下水を止めていることから、下水の水深は20~30cmといったところですが、通常は取り付けられた採熱管が下水の下に隠れる状態となります。温泉排水が多量に入る諏訪湖流域下水道では、他の地域の下水よりたくさんの熱量を回収することが期待されます。



採熱管折り返し部分取付状況



採熱管取付状況

諏訪赤十字病院の冷暖房施設の稼働開始は30年4月を予定していますが、今後も定期的に施設の確認を行い、流域下水道の運営に支障がないことを確認していく予定です。

話題のマンホールカードに茅野市のマンホールが登場

平成 28 年 4 月に登場したマンホールカード。平成 29 年 12 月 9 日に第 6 弾の配布が始まり、その数は 252 自治体 293 種類となりました。

諏訪湖流域下水道の御柱のマンホールカードは、第 1 弾 28 自治体 30 種類の一つとして配布を始めました。今までに 5000 枚以上のカードが配られています。

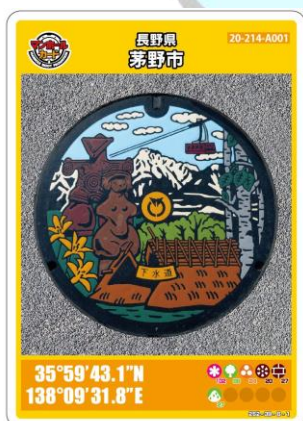
マンホールカードは、現地に行かないともらえないコレクションカードとして、徐々に人気が高まっています。ご当地の名物がデザイン化され、きれいなカラーマンホールも多いことから、集めて楽しいカードになっています。長野県内では、第 1 弾の諏訪湖流域下水道のほか、第 3 弾で安曇野流域下水道、第 5 弾で飯山市のマンホールカードの配布が始まっています。

最新の第 6 弾には、64 自治体の 66 種類のカードが発行されました。この中には諏訪湖流域下水道の関連市町村では初めて、茅野市のマンホールカードも登場しています。茅野市のマンホールカードに登場するのは、国宝「縄文のビーナス」「仮面の女神」やハヶ岳など、茅野市のシンボルや豊かな自然がデザインされたカラーマンホールです。長野県内ではほかに、第 6 弾で、松本市、小諸市のマンホールカードの配布が始まりました。

茅野市のマンホールカードは、茅野市観光案内所（茅野市ちの 3506 TEL0266-72-2637）で手に入れることができます。配布時間は、年末年始（12 月 31 日～1 月 3 日）を除く平日・休日の午前 9 時から午後 5 時 30 分です。

マンホールカードの種類や配布場所、配布時間を知りたい方は、下水道広報プラットフォームのホームページをご覧ください。アドレスはこちら→<http://www.gk-p.jp/mhcard.html>

なお、諏訪湖流域のマンホールカードは土日、祝祭日及び年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）を除く平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで、管理本館 2 階の事務室でお配りしています。



配布が始まった茅野市のマンホールカード